

## くすりのしおり

612140075

2006年12月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**商品名：カプトリル錠 25mg**

主成分：カプトプリル（Captopril）

剤形：白色の錠剤、直径7.0mm、厚さ2.2mm

シート記載：Captopril 25mg、276、カプトリル 25mg

**この薬の作用と効果について**

アンジオテンシン変換酵素を阻害して、アンジオテンシン II の生成を抑えることにより、血圧を低下させます。

軽・中等症の高血圧症、重症高血圧症、腎機能が悪くなったり、腎血管の狭窄などによっておこる高血圧症、悪性高血圧症を改善させます。

通常、本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧症の治療に用いられます。

**次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。血管浮腫、アフエレーシス施行中
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

**用法・用量（この薬の使い方）**

- ・ **あなたの用法・用量は** << >> **：医療担当者記入**
- ・ 通常、成人は1回1/2～1錠（主成分として12.5～25mg）を1日3回服用します。重症の場合は、1日6錠（150mg）まで増量できます。治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

**生活上の注意**

- ・ 血圧が下がることによって、めまい、ふらつきがあらわれることがありますので、高所での作業、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作には注意してください。

**この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

主な副作用として、発疹、そう痒などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 呼吸がしにくい、まぶた・唇・舌が腫れる、蕁麻疹がでる [血管浮腫]
- ・ 全身がだるい、頭・のどが痛い、歯ぐき・皮下の出血がある [汎血球減少、無顆粒球症]
- ・ 尿の量が減る、むくみ、食欲がない [急性腎不全、ネフローゼ症候群]
- ・ 手足や唇がしびれる、筋肉に力が入らない、手足が麻痺する [高カリウム血症]
- ・ 胸の痛み、圧迫感、冷汗 [狭心症、心筋梗塞、うっ血性心不全、心停止]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法その他**

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温（車の中などを含む）を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

**医療担当者記入欄** 年 月 日

※次ページも必ずお読みください。

カプトリル錠 25mg

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。